

第2回 環境放射能除染研究発表会

ポスター発表プログラム(5月23日 最終版)

発表日程 奇数番号:6月5日(水), 偶数番号:6月6日(木) (Pの後の3ケタ数字)

P1. 計測技術と環境モニタリング

P-001	Nal(Tl)シンチレーションサーベイメータを用いた除染現場における放射能濃度簡易測定	○竹内弥・山口陽二(環境リサーチ(株))
P-002	簡易型線量率計を用いた水中投入型の放射線モニタ	○古川泰生・松本絵里佳・関口欽太・北村巧((株)堀場製作所)
P-003	廃棄物焼却排ガスの長時間採取・測定方法に関する検討と適用	○滝上英孝・山本貴士・竹内幸生・田野崎隆雄・鈴木剛((独)国立環境研究所)・森口祐一(東京大学)・大迫政浩((独)国立環境研究所)
P-004	不燃物の放射能濃度の測定における試料採取方法の検討	○山本貴士・竹内幸生・金松雅俊・高田光康・田野崎隆雄・鈴木剛・滝上英孝・大迫政浩((独)国立環境研
P-005	GMサーベイメータを用いた除染排水中放射性セシウム濃度のオンサイト測定	○鹿島勇治・高橋克行・堀内泰・梶史生((一財)日本環境衛生センター)・梅原孝之・太田誠一・山口裕顕(住友スリーエム(株))
P-006	線量率測定における効果的な遮へい具の開発	高羽泰久・内山裕允・○岩崎伸治((株)オオスミ)・鈴木幹夫(いであ(株))
P-007	草木類保管場所におけるポール型サーベイメータを用いた放射線情報の可視化の検討	○山本貴士・竹内幸生・田野崎隆雄・鈴木剛・滝上英孝・大迫政浩((独)国立環境研究所)
P-008	無人ヘリを用いた河川敷の放射線分布モニタリング	○眞田幸尚・佐藤義治・平山弘克・石田睦司・鳥居建男((独)日本原子力研究開発機構福島技術本部)
P-009	チェルノブイリ原子力発電所周辺における除染の有無による人工放射性核種の環境動態	○平良文亨・林田直美・土屋りみ(長崎大学)山口仁士(同・長崎県)・高橋純平(長崎大学)・Alexander Kazlovsky(ゴメリ医科大学)・Marat Urazalin・Tolabay Rakhymbekov(セミパラチンスク医科大学)・山下俊一・高村昇(長崎大学)
P-010	モニタリングポストのスペクトル解析による原発事故前の都内の環境放射線量推計の試み	○小西浩之・富士栄聡子・保坂三継・中江大(東京都健康安全研究センター)
P-011	全国の環境モニタリングデータの集約と公開	○関暁之・斎藤税・名古玄天・齋藤公明・武宮博((独)日本原子力研究開発機構)
P-012	3次元モンテカルロ法を用いた除染後空間線量マップ予測システムの運用	中尾徳晶・木下哲一・小迫和明・中西啓二(清水建設(株)技術研究所)
P-013	堆肥ヤードにおける放射線量の面的スクリーニング	○滝上英孝・高田光康・金松雅俊・竹内幸生・田野崎隆雄・鈴木剛・山本貴士・大迫政浩((独)国立環境研究所)
P-014	水生昆虫を用いた河川環境の汚染モニタリングの試み	上野大介(佐賀大学農学部)・龍田希(東北大学医学系研究科)・長坂洋光(いであ(株))・檜崎幸範(福岡県保健環境研究所)・稲波修(北海道大学獣医学研究科)・染谷孝(佐賀大学農学部)・仲井邦彦(東北大学医学系研究科)
P-015	空間線量率マッピングシステムの開発	○和賀祥吾・岡本修・柴田裕一(茨城工業高等専門学校)・石山宏二・石渡寛之(西松建設(株))

P2. 除染計画および除染技術

P-016	不織布プリーツフィルタ・プルシアンブルー担持不織布フィルタによる水中の懸濁物質付着態・溶存態放射性セシウム回収性能の水温・pH依存性	辻英樹・保高徹生((独)産業技術総合研究所)・今藤好彦・川嶋将之(日本バイリーン(株))・鈴木安和(福島県農業総合センター)
P-017	プルシアンブルーナノ粒子によるCs除染システム	○木戸玄徳・岩井良太(関東化学(株))・田中栄二・吉永誠(関東化学エンジニアリング(株))・川本徹((独)産業技術総合研究所)・吉野和典(関東化学)
P-018	高分子剥離剤を用いた構造物からの除染技術	熊沢紀之・○稲邊裕司(茨城大学工学部)
P-019	非界面活性剤系洗浄剤(JPAL [®])による除染の高効率化に関する検討	○上田義勝(京都大学生存圏研究所)・徳田陽明(京都大学化学研究所)・後藤裕((株)クレハトレーディング)
P-020	拭き取り用洗浄剤「ペレテックスTOR」の特長と効果	○井町臣男・仁上修一(ミヨシ油脂(株))・橋本宏治(大成建設(株))
P-021	放射性セシウムで汚染された土壌の除染を目的とした洗浄剤の開発	○野口祐樹(大阪大学・(株)ネオス)・吉田卓矢((株)ネオス)・加藤栄一(大阪大学・(株)ネオス)・木田敏之・清水喜久雄・明石満(大阪大学)
P-022	S-jet モバイル除染システム及び有機酸除染システムによる除染実験	○川口正人(清水建設(株)技術研究所)・塚原裕一(清水建設(株)生産技術本部)・布施幸則・中西啓二・中尾徳晶・木下哲一(清水建設(株)技術研究所)
P-023	改良型金属加工水溶液散布による放射能汚染土壌の線量低減効果	○岡尚一郎・入山政道・川島孝亮・廣原美照・和田吉章・井阪尚司・浅井満来雄・沖田保司・久保良喜・國分秀博・鈴木義勝((株)スリー・イー)・久貝博司・野田悦範((株)クリエイト)・伊藤俊彦・小林章((株)ジェイラップ)・中島裕夫(大阪大学大学院)・大島淳(長浜バイオ大学)・菊池潮美(滋賀県立大学)・福谷泰雄
P-024	Extraction of Cesium from Soil: 土壌からのセシウムの抽出	○Durga Parajuli・桜井孝二((独)産業技術総合研究所)・佐藤睦人(福島県農業総合センター)・保高徹生・田中寿・川本徹((独)産業技術総合研究所)
P-025	マイクロバブル・フローテーションを利用した放射性セシウム汚染土壌の除染・減容化	○日下英史(京都大学大学院エネルギー科学研究科)・石山宏二(西松建設(株)技術研究所)・奈良崎則雄((株)湘南数理研究会)・白石稜威男((株)タクマ)
P-026	湖沼等の放射性物質汚染底質を効率よく除染(東洋式除染システム)	松岡正博
P-027	水熱処理を用いた土壌中セシウムの分離法に関する研究	○高橋秀治・緒明博・稲葉優介・竹下健二(東京工業大学原子炉工学研究所)
P-028	U8カラム吸着試験	○北島明子((独)産業技術総合研究所)・小林剛・川崎達也・川津善章(日本バイリーン(株))・小川浩・川本徹・田中寿((独)産業技術総合研究所)
P-029	振盪実験データに基づくPBカラムによるセシウム除去率のシミュレーション	○小川浩・北島明子・田中寿・((独)産業技術総合研究所)・高崎幹大・吉野和典(関東化学(株))・川本徹((独)産業技術総合研究所)
P-030	高性能洗浄装置を用いた汚染土壌の除染および減容化技術	○前田幸男・辻野修一・歌川紀之・片野富雄・楠岡弘康(佐藤工業(株))・森晴夫・木俣陽一(若築建設(株))・京藤敏達(筑波大学)
P-031	舗装面を除染するための吸引式高圧水洗浄工法(アライグマ-ラジカル工法)の開発	石原吉雄・末広武司・○丸山能生・中島貴弘・山下亮・長井潔・館岡潤仁(安藤ハザマ)
P-032	アスファルト舗装面を効率的に除染する薄層切削技術	○木川田一弥・笠博義・武石学(安藤ハザマ)・山西晃郎((株)IHI)・千坂修・山下浩(IHI建機(株))
P-033	小規模分散型セシウム回収プロセスの実用化	迫田章義・石井和之・工藤一秋・立間徹・赤川賢吾・小尾匡司・藤田洋崇・○藤井隆夫・黒岩義徳・高橋勇介(東京大学生産技術研究所)・佐藤理夫・島長義(福島大学共生システム理工学類)
P-034	非晶質アルミノケイ酸塩粒子による放射能汚染土壌の減容化システムの開発	○末益匠・片元勉・松井敏樹・美藤真(戸田工業)・今井知之(クボタ化水工業)・鈴木和明(中村基礎)・末木啓介(筑波大学アイソトープ環境動態研究センター)・鈴木正哉((独)産業技術総合研究所)
P-035	汚染土壌の除染・減容化・不溶出化技術	○伊藤光明(いであ(株))・青島孝始・谷元佳代彦((株)環境美研)

P-036	有機酸及びアンモニウム塩溶液とマイクロ波加熱による土壌からのセシウムの抽出	○村上英樹・菊地良栄(秋田大学大学院工学資源学研究科)・上島雅人(University of Kansas, Kansas Geological Survey)・水谷敦司((株)竹中工務店)・榎政敏・吉原泰夫・白鳥雄介((株)NSE)・二木健((株)アトックス)・江橋勝弘
P-037	GISを利用した除染クラウドサービスについて	小野芳樹((株)パスコ)
P-038	放射性セシウム汚染災害廃棄物を処理するための代替案選択手法	○米田稔・山岡文洋・島田洋子・松井康人(京都大学工学研究科)
P-039	福島県除染推進活動の結果概要(専門家活動)	青木勲((独)日本原子力研究開発機構福島技術本部)
P-040	霞ヶ浦ワカサギの釜ゆでによる除染効果について	○脇本忠明(愛媛大学農学部)・戸田弘美((株)出羽屋)・西野英二((株)IRIS放射能検査サービス)・戸田廣((株)出羽屋)・薄井征記(霞ヶ浦漁業組合)
P-041	日本大学工学部キャンパス内の放射性物質の変化	○平山和雄・郡川正裕(日本大学工学部)
P-042	砂入り人工芝テニスコートの汚染測定	○森川孝司・持木幸一(東京都市大学)・大山文宏((株)住ゴム産業)

P3. 森林・農地の問題

P-043	除染に伴い発生する有機物のバイオマスガス化発電による減容化およびエネルギー回収	中島卓夫・松生隆司・吉岡由郎・大山将((株)鴻池組)
P-044	放射性セシウムに汚染された牛ふん堆肥の安定処分	○塩谷昌之・小磯将広・島長義・佐藤理夫(福島大学大学院共生システム理工学研究科)
P-045	有用微生物群(EM)を用いた土壌改良による放射性物質の農作物への移行抑制効果及び機序の検討	○新谷正樹((株)EM研究機構・東京女子医科大学)・奥本秀一・西渕泰((株)EM研究機構)・Natalia Shamal・Aleksander Nikitin(ペラルーシ共和国放射線生物学研究所)・比嘉照夫(名桜大学国際EM技術研究所)
P-046	根酸構成成分による糸状菌類の繁殖と土壌からのセシウム抽出作用	○村上英樹・菊地良栄(秋田大学大学院工学資源学研究科)・坪井正行(東洋ゴム工業(株))・上島雅人(University of Kansas, Kansas Geological Survey)
P-047	水を用いた土壌攪拌-吸引排水法による水田からの放射性セシウム除去技術の開発	○牧野知之・赤羽幾子・山口紀子・荒貴裕・山口弘・木方展治・藤原英司((独)農業環境技術研究所)・太田健・江口哲也((独)農業・食品産業技術総合研究機構東北農業研究センター)・神谷隆・高野博幸(太平洋セメント(株))・齋藤隆(福島県農業総合センター)
P-048	Predicting next 50 years of Radioactive Cesium in Forest area of Fukushima using Modeling technique	Kang Seongjoo(京都大学工学研究科)・芦田貴志(東京ガス)・米田稔・島田洋子・松井康人(京都大学工学研究科)・颯田尚哉(岩手大学農学部)・藤田泰崇(岩手大学農学部附属寒冷フィールド教育研究センター滝沢演習林)
P-049	広葉樹混合林およびスギ人工林における落葉に伴う放射性セシウムの移行	○久留景吾(筑波大学生命環境系(現:アジア航測株式会社))・恩田裕一(筑波大学アイソトープ環境動態研究センター)・河守歩(筑波大学生命環境科学研究科)・加藤弘亮(筑波大学アイソトープ環境動態研究センター)

P4. 放射性物質の環境化学

P-050	バーネサイトを用いたセシウムの除去・低減技術	○苑田晃成・榎田洋二・チトラカー ラメシュ((独)産業技術総合研究所健康工学研究部門)
P-051	大気捕集試料中ヨウ素129の分析方法の検討II	○柴田康行・加藤文彬・田中敦・土井妙子((独)国立環境研究所)・豊田晃弘・榎本和義(高エネルギー加速器研究機構)・S. Xu・S. Freeman(SUERC)
P-052	セシウム137による土壌汚染の経時変化に関する基礎的研究	○矢永誠人・大石歩実(静岡大学大学院理学研究科)
P-053	桜花への ¹³⁴ Csと ¹³⁷ Csの移行係数の経年変化	永嶋誠一(日本大学工学部)
P-054	常総地区の室内ダスト中放射性セシウムとその変動要因	○高木麻衣・田中敦・瀬山春彦・中山祥嗣・柴田康行((独)国立環境研究所)

P5. 放射性廃棄物の分離・保管とその技術、水処理技術

P-056	ごみ焼却炉におけるセシウムの燃焼挙動の研究	井口拓・○河野孝志((株)タクマ)
P-057	風化促進試験による焼却主灰の風化変質がセシウムの挙動に与える影響	○東條安匡・岩本早織・松尾孝之・黄仁姫・松藤敏彦(北海道大学大学院工学研究院)・島岡隆行(九州大学大学院工学研究院)
P-058	マイクロバブル・フローテーションによるCsナノ粒子吸着剤の浮上分離	○日下英史・北谷卓也(京都大学 大学院 エネルギー科学研究科)・奈良崎則雄((株)湘南数理研究)
P-059	草木類を含む土壌の熔融処理試験	○阿部清一・川本克也・大迫政浩((独)国立環境研究所資源循環・廃棄物研究センター)
P-060	計算科学によるゼオライトのCs吸着機構の解析	○中村博樹・奥村雅彦・町田昌彦((独)日本原子力研究開発機構)
P-061	プルシアンブルーを用いた福島県汚染物減容化のための実証プラント	○南公隆・小川浩・田中寿・高橋顕・内田達也・北島明子・Parajuli Durga・川本徹・伯田幸也((独)産業技術総合研究所)・山口真樹・長田光雄・大竹伸昭・佐藤秀一・上村竜一(東電環境エンジニアリング(株))
P-062	放射性物質を含む廃棄物の埋立処分技術(隔離層)の開発	○加藤顕・小竹茂夫・日笠山徹巳・石田道彦・高橋真一・塩田耕三((株)大林組)・鍋嶋靖浩(旭化成ジオ)
P-063	福島県の産業廃棄物中間処理施設における廃棄物等の放射能汚染状況調査報告	○金松雅俊・高田光康・山田 正人・大迫政浩((独)国立環境研究所)・立尾浩一((一財)日本環境衛生セ)
P-064	飛灰の放射能濃度低減等を目的とした造粒固化洗浄技術	小竹茂夫・日笠山徹巳・高田直哉・三浦俊彦((株)大林組)
P-065	除染可燃物焼却に伴う高濃度汚染焼却残渣の減容固化技術	○弘末文紀・齊藤栄一・中島貴弘・坂本守(安藤ハザマ)・島岡隆行(九州大学大学院工学研究院)
P-066	エマルジョンバーナー式表面熔融炉による熔融処理技術	○和田隆太郎・栗本宣孝((株)神戸製鋼所)・古渡周作・古渡正道(日本環境保全(株))
P-067	プルシアンブルーナノ粒子造粒体の粒径とCs吸着特性の関係	○高崎幹大・岩井良太(関東化学(株))・北島明子・田中寿・川本徹(((独))産業技術総合研究所)・吉野和典(関東化学(株))
P-068	ナノカルシウム/メタノール懸濁液による焼却飛灰からの放射性セシウムの抽出と不溶化	○Srinivasa Reddy Mallampati・三苦好治(県立広島大学)・奥田哲士(広島大学)・崎田省吾・掛田光則(県立広島大学)
P-069	埋立地内に敷設された土壌吸着層からの放射性セシウムの長期脱着挙動	○石森洋行(立命館大学)・遠藤和人・肴倉宏史・山田正人・大迫政浩((独)国立環境研究所)
P-070	天然鉱物由来微粉末を用いた飛灰からの放射性セシウム溶出抑制	○椎名貴快・石渡寛之・石山宏二・岩永克也(西松建設(株)技術研究所)
P-071	熱処理した各種ゼオライトからのセシウムイオン溶出挙動	○渡辺雄二郎・笹倉琢朗(金沢工業大学)・山田裕久(物質・材料研究機構)・小松優(金沢工業大学)
P-072	フェロシアン化金属を担持したセシウム除去用吸着繊維の開発	○天海亘・藤原邦夫・河合繁子・梅野太輔・斎藤恭一(千葉大学大学院工学研究科)・須郷 高信((株)環境浄化研究所)
P-073	熔融飛灰中セシウムの水溶解性に関する実験的検討	○釜田陽介・西村和基・佐藤淳・上林史朗・阿部清一((株)クボタ)
P-074	焼却炉内でのCS挙動解析コードの構築	横山薫・小原義之((独)日本原子力研究開発機構人形峠環境技術センター)・大杉武史・大越実(同 原子力原子力科学研究所)・梅澤克洋(同 福島環境安全センター)・○杉杖典岳(同 人形峠環境技術セ)

P6. リスクアセスメント

P-075	電子式線量計を用いた焼却施設における作業者の外部被曝評価	小山陽介・松井康人・塩賀淳平・西岡和久・島田洋子・高岡昌輝・米田稔(京都大学工学研究科)
P-076	被災地のごみ焼却施設における作業者の被曝リスク評価	小山陽介・○松井康人・塩賀淳平・西岡和久・島田洋子・高岡昌輝・米田稔(京都大学工学研究科)
P-077	被災地周辺焼却施設における作業者に対する粒子状物質の曝露評価	○松井康人・小山陽介・西岡和久・塩賀淳平・島田洋子・高岡昌輝・米田稔(京都大学大学院工学研究科)
P-078	放射性廃棄物の運搬と計測におけるご提案	峯尾昇(シグマテック(株))

P7. 流域動態, 海洋汚染, 生態系保全

P-079	福島における線量率と大気中ダスト濃度の時間空間依存性	飽本一裕(帝京大学大学院)
P-080	福島県における放射性核種の環境中移動調査・研究(その1)森林調査	○新里忠史・阿部寛信・渡辺貴善・佐藤治夫・安江健一・小田好博((独)日本原子力研究開発機構)
P-081	福島県における放射性核種の環境中移動調査・研究(その2)河川調査	○大山卓也・三枝博光((独)日本原子力研究開発機構)
P-082	福島県における放射性核種の環境中移動調査・研究(その3)ダム・ため池	○舟木泰智・萩原大樹・鶴田忠彦((独)日本原子力研究開発機構福島技術本部)
P-083	福島県における放射性核種の環境中移動調査・研究(その4)線量率測定	○中間茂雄・石井康雄・石川浩康((独)日本原子力研究開発機構)
P-084	ハイブリッド型生態環境リスク評価システム(iEIRAS)によるCsの影響評価	○村上和仁(千葉工業大学)・稲森悠平(福島大学)・杉浦桂(相模女子大学)・府馬正一((独)放射線医学)
P-085	福島県における原発事故による生物影響:調査計画の概要と進捗	堀口敏宏・児玉圭太・裕島野枝・大原利真((独)国立環境研究所)

P8. その他

P-087	絵画「7龍神図」の埋設結界による放射能分解実験	○上野未央(SUPER LOVE JAPAN)・高尾征治(哲学科学・技術研究/TAKAO)
-------	-------------------------	---